

比較家族史学会

会報 比較家族史 19

事務局 〒113 東京都文京区本郷7-3-1

東京大学社会科学研究所 利谷研究室

比較家族史学会 第二二回研究大会

日時 一九九二年十一月六日(金)・七日(土)
場所 エル・おおさか(大阪府立労働センター)

大阪府中央区北浜東三ー四

☎〇六一九四二一〇〇〇一

六日会場 エル・おおさか 6F大会議室

七日会場 エル・おおさか 2Fエル・シアター

交通 京阪電車・地下鉄「天満橋駅」下車西へ二〇〇

メートル (地図参照)

第一日(六日)午後一時より

◇会長挨拶(13:00) 大竹 秀男(神戸大学)

◇総会 (13:10)

◇自由報告

・西欧近世における非嫡出子問題

(13:40) 三成 美保(大阪市立大学)

・現代韓国の家族意識について

ーソウル調査よりー

(14:30) 篠崎 正美(アジア女性交流・研究フォーラム)

◇休憩 (15:20)

・近江湖東の祭祀組織と世代区分

(15:40) 正岡 伸洋(仏教大学大学院)

・現代の親子擬制論

(16:30) 本城 武雄(名城大学)

◇懇親会 (詳細は二頁に掲載)

(18:00) 20:00

第二日(七日)

「府民公開シンポジウム」大阪大会

高齢化社会における親子ー親子関係を問い直すー

◇開会の挨拶(10:00)

大阪大会実行委員長 山中永之佑(追手門学院大学)

比較家族史学会会長 大竹 秀男(神戸大学)

◇趣旨説明(10:20)

コーディネーター 有地 亨(聖心女子大学)

波平恵美子(九州芸術工科大学)

◇報告 (10:40)

・高齢化社会の「孝」

大竹 秀男(神戸大学・日本法制史)

・成人した子と親との関係

高橋 博子(日本赤十字武蔵野女子短期大学・家族社会学)

◇昼休み (12:00)

◇報告 (13:00)

・ドイツではー高齢化先進社会の親子ー

ウルリッヒ・メーワルト(ドイツ日本研

究所・家族社会学)

・大阪府における児童と老人の現状と展望

家常 恵(大阪府立砂川厚生福祉セ

ンター・社会福祉学)

◇休憩 (14:20)

◇コメントーターから(14:40)

◇質疑応答(15:20) 17:00

(シンポジウム実行委員)山中永之佑(委員長)・井ヶ

田良治・地主喬・波平恵美子・栗原弘・中尾敏充・堀江

俊一・白石玲子

大阪シンポジウムについて

1 研究大会(六日)、懇親会、シンポジウム大阪大会(七日)へ参加される方は、同封の葉書に○印をつけて、一〇月二〇日までに御投函くださいますようお願い申し上げます。

2 会場近辺には食事のできる場所が多々ありますので、弁当などは、とくに用意いたしません。

3 シンポジウム会場(七日)の受付(2F)は、午前九時三〇分頃から始まります。ただし、エール・シアターの設営準備のため、会場は九時四五分〜五〇分にならないと入場できないという事です。たいへん恐縮ですが、しばらく会場前のロビー等でお待ちください。

なお、六日自由報告の受付は、6Fで行います。

4 シンポジウム会場は、八〇〇名収容可能です。会員以外のできるだけ多くの方々の参加を期待しておりますので、お知り合いをお誘いの上ご参加いただければ幸いです。なお、シンポジウムのパンフレットが必要な方は、後掲牧田まで、部数・発送先等お知らせください。

5 懇親会は、前回と同様一〇周年記念パーティーを兼ねることになります。多くの会員の参加をお願いいたします。

日時 十一月六日 午後六時より
場所 エル・おおさか 一〇階

費用 七、〇〇〇円

6 六日の自由報告で発表される方は、一〇月二五日まで(必着)に配布資料(できれば三枚以内)をお願いいたします。一部を牧田までお送りください。期日までにお送りいただけない場合には、恐縮ながら各自人数分のレジュームをご用意くださいますよう、お願い申し上げます。

(連絡先)

○「府民公開シンポジウム」大阪大会実行委員会事務局

〒六〇二 京都市上京区烏丸今出川 同志社
大学法学部 井ヶ田良治研究室 ☎〇七五―
二五―一三五三三

○学会事務関係

牧田 勲

○一般連絡先

〒五四〇 大阪市中央区谷町二―二―一八
財団法人大阪府地域福祉推進財団 ☎〇六―
九四二―五〇〇一

(今回のシンポジウムは、大阪府との共催でおこなわれますので、一般の方の問い合わせ先を右財団にお願いしました)

事務局からのお知らせ

1 会費の納入について

一九九二年度分会費を未納の方には、振込

用紙を同封しましたので、納入をよろしくお願いたします(年会費三〇〇〇円)。なお封筒宛先右下の数字が納入済年度を示しています。

2 研究大会成果の刊行について

本学会の成果は、『シリーズ家族史』(第一期)、『シリーズ比較家族』(第二期)として刊行されておりますが、次の二著が刊行されましたのでお知らせいたします。

①『離婚の比較社会史』有地亨・老川寛編 三省堂 三六〇〇円

購入希望の方は、その旨葉書に書いて、直接左記宛にお申込ください。

〒一〇一 東京都千代田区三崎町二―二―一

一四 三省堂

なお、比較家族史学会の会員は、二割引きで購入できますので、葉書には「比較家族史学会会員」とお書き添えください。

②『家と家父長制』鎌田浩・永原慶二・住谷一彦編 早稲田大学出版会 三六〇〇円

やはり比較家族史学会の会員は、二割引き(ただし送料は会員負担)となりますので、購入希望者はその旨書き添えて、お申込ください。(同封資料をご参照ください)

3 『事典・家族』の刊行について

一〇周年記念事業の一つとして進められている『事典・家族』につきましては、現在掲載項目が確定される段階にきております。次回編集委員会を経て、執筆者の選定を行なう予定です。

一〇周年記念事業寄付者御芳名

○協力団体

田辺製薬株式会社
大日本製薬株式会社
日本生命保険相互会社
武田薬品工業株式会社

○会員寄付

五万円	利谷 信義		
三万円	藤井 正雄	竹田 且	
	山中永之佑	井ヶ田良治	
	塙 陽子		
二万円	曾根ひろみ		
一万五千元	森岡 清美		
一万円	植松 明石	地主 喬	
	村武 精一		
六千元	武田 道生	窪田 信子	
	植野 弘子	鷺見 等曜	
	松浦 千誉	林 由紀子	
	孝本 貢	山瀬 善一	
	田端 泰子	犬塚 協太	
	長野ひろ子	渡辺 秀樹	
	青島 敏	松本 タミ	

五千元

中山まき子 目黒 依子
酒井はるみ 床谷 文雄
川上 房子 秀村 選三
竹内 康博 上村 正名
関口 裕子 吉見 周子
山中 至 丸山 茂
中尾 敏充 庄司 洋子
近藤佳代子 竹内 隆夫
ウルリッヒ・メーワルト

三千元

東 孝子 許 末恵
中村 彰 小馬 徹
佐々木美智子 立柳 聡
笥 久美子 阿由葉 司
高木 正朗 坂田 聡
小池 誠 米地 実
松本 誠一 上杉 妙子
緒方 和子 中生 勝美
末広菜穂子 金城 秀樹
福田 恒彦 犬童 美子
座間利恵子 平野 敏政
早川 紀代 若尾 典子
前之園幸一郎 宮崎 幹朗
菅野 則子 政岡 伸洋
緒方 直人

〔一九九二年九月二〇日現在・入金順〕

一〇周年事業へのご協力、どうもありがとうございました。
うございしました。

幹事会 議事録

日時 一九九二年六月五日
場所 東京都児童会館

(1) 報告事項

1 『比較家族史研究』第七号刊行の進捗状況報告。
2 『シリーズ比較家族』各巻刊行の進捗状況報告。

3

一〇周年記念事業の経過報告

① シンポジウム大阪大会

・第一巻「家父長制」七月刊行予定。
・第二巻「墓」七月初校、十一月刊行予定。
・第三巻「女性をめぐる縁組」十一月刊行。

・第四巻「教育」原稿は出版社に提出済、以上四冊は、今年度中に印刷・刊行予定。
・第五巻「家と屋敷地」来年度中刊行予定。
・第六巻「親と子」十月頃までに執筆依頼の予定。

② 『事典・家族』

・編集委員会と事務局で月一回くらい項目選定の会議をひらく。

・ポスターは学会で作成する。

・大阪府(府民公開シンポジウム実行委員会)と比較家族史学会(一〇周年記念事業実行委員会)との共催でおこなう。

・十一月七日、エル・おおさかのエル・シアターで開催。六日は自由報告。

・大坂府(府民公開シンポジウム実行委員会)と比較家族史学会(一〇周年記念事業実行委員会)との共催でおこなう。

・ポスターは学会で作成する。

総会 議事録

日時 一九九二年六月五日
場所 東京都児童会館

新入会員

山本起世子 社会学

園田学園

女子大学

木脇奈智子 家族社会学・女性学

お茶の

水女子大学大学院

三成 美保 西洋法制史

大阪市立大

学(非常勤)

吉田 勉 日本近世史

大宮市役所主事

平田 陽一 民法

大東文化大学(非常勤)

松本 誠一 文化人類学・韓国研究

東洋大学

荒井 和美 社会学

東洋大学大学院

- ・六月中に項目表を検討、夏休みに項目決定。秋には執筆者を選定する。
- ③ 寄付金について
- ・シンポジウム開催について四〇〇万円ほどを予定。
- 4 学術会議関連
 - ・学術の国際貢献について特別委員会設置。
 - ・脳死について検討。
- 5 その他
- (2) 審議事項
 - 1 新入会員の承認(一三名承認)
 - 2 退会者の承認(三名承認)
 - 3 前年度会計報告の承認
 - 4 幹事会員の任期満了にともなう改選について
 - ・一〇周年記念事業の継続性に支障をきたすため、秋のシンポジウム完了まで任期を延長する。
 - ・事務局メンバーと幹事との兼任について検討する。
 - 5 シンポジウム以降の大会テーマについて
 - ・有地亨企画委員長に、次回以降の研究大会テーマの検討を依頼する。
 - 6 明年度の開催校について
 - 7 その他
 - ・学会関係の年報やシリーズに執筆した論文などを、個人の論文集・著作集に転載することについて、承認する。

8 その他

- 1 新入会員の紹介
- 2 前年度の合計報告
- 3 『比較家族史研究』第七号の刊行について
- 4 『シリーズ比較家族』の刊行について
 - ・早稲田大学出版部より刊行
 - ・第四巻までは、今年に刊行予定
 - ・第五巻以降は未定
- 5 一〇周年記念事業について
 - ・シンポジウム大阪大会は、エル・大阪(大阪府立労働センター)エル・シアターで、一月七日(土)に開催する。テーマは、「高齢化社会の親子」。
 - ・『事典・家族』の編集について、進捗状況報告。
- 6 寄付について
 - ・役員改選について
- 7 規約によると、本年四月で会長・副会長・幹事の任期満了となるが、一〇周年記念事業の継続に支障がでるため、本年秋の学会まで継続することを確認する。
- 8 明年度の開催校について
 - ・春の学会については、交渉中。テーマは、企画委員会に検討を依頼する。

梅村 佳代 日本教育史

暁学園短期大学

三橋 恵子 社会学

田大学

朝倉 敏夫 社会人類学

早稲

吉野 晃 社会人類学

東京学芸大学

国際基督教大学大

学院

蕭 紅燕 文化人類学

河野 元子 社会経済史

国立民族学博物館

政岡 伸洋 日本民俗学

アジア女性交流・研究フォーラム

亜細亜大学(非常勤)

林 純子 家族社会学・社会学研究法

早稲田大学大学院

対馬 秀子(旧姓 東) 社会学

仏教大学大学院

坂本 一光 文化人類学

原 ひろ子 文化人類学

順天堂大学

大分県立芸術文化短期大学

お茶の水

小野 義美 民法

大野 博美 民法・法社会学

女子大学

熊本大学

葉大学

片山英一郎 民法

立山ちづ子 食料経済

崔 仁宅 社会人類学

早稲田大学大学院

熊本県立甲佐高校

住所変更(所属変更を含む)

小池 誠 社会人類学

東京都立大学大学院

犬塚 協太 社会学

広

波平恵美子 文化人類学

静岡県立大学

嶋崎 尚子 家族社会学・家族史

島大学 有地 亨 家族法・法社会学

九州芸術工科大学

聖心女子大学

所属変更

山中水之佑 追手門学院大学
 柳谷 慶子 聖和学園短期大学
 中生 勝美 宮城学院女子大学・短期大学
 中山まき子 目白学園女子教育研究所
 岩上 真珠 明星大学
 鷺見 等曜 岐阜経済大学退職

退会者

石川 栄吉 東京都立大学
 高梨 公之 日本大学
 蘭部 寿樹 筑波大学大学院

学会の周辺

○国際シンポジウムの開催

「アジアの伝統的慣習法と近代化政策」

日時 一月二六日(一〇時一五分)〜一七時三〇分

一月二七日(九時三〇分)〜一七時三〇分

場所 早稲田大学国際会議井深記念ホール
 報告者 黒木三郎・大林太良・江守五夫・加藤

美穂子ほか、また中国・台湾・韓国・タイの研究者も報告の予定(同時通訳付き)。

参加費用 三〇〇円(レジュメ代など)

問い合わせ

〒一六〇一五〇 東京都新宿区西早稲田一
 六一一 早稲田大学法学部牛山研究室
 ☎〇三―三二〇三―四一〇一(内線三六三二)
 なお、このシンポジウムは、比較家族史学会が協賛しております。

○『新しい家族―養子と里親制度の研究』(養子と里親を考える会)第二号が刊行されました。

内容 シンポジウム「後見制度と子どもの権利」(中原尚一・稲子宣子・湯沢雅彦の各氏)、「実子特例法より特別養子制度へ(二)」(中川高男)など。
 問い合わせ

養子と里親を考える会